

令和 6 年 1 月 22 日訂正

国道 1 1 6 号美咲町・新光町電線共同溝  
P F I 事業

見積参考資料【再公告】

令和 5 年 1 1 月

国土交通省北陸地方整備局

---

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法等を十分考慮して、設計、工事、維持管理等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

#### 資料一覧

1. 見積参考資料（設計業務）
2. 見積参考資料（工事業務）
3. 見積参考資料（工事監理業務）
4. 見積参考資料（維持管理業務）

## 見 積 参 考 資 料

事業名：国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業（設計業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 北陸地方整備局  
新潟国道事務所 管理第二課

（地質調査業務）

### 1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。

#### 1) 機械ボーリング

##### ①土質ボーリング

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-1-3 機械ボーリングを適用

#### 2) サンプルング

##### ①固定ピストン式シンウォールサンプラー

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-2-3 固定ピストン式シンウォールサンプラーを適用

#### 3) サウンディング及び原位置試験

##### ①標準貫入試験

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-3-3 標準貫入試験を適用

#### 4) 土質・土壌試験

##### ①土の密度試験

適用基準書：物価資料による

##### ②土の含水比試験

適用基準書：物価資料による

##### ③土の湿潤密度試験

適用基準書：物価資料による

##### ④土の粒度試験

適用基準書：物価資料による

##### ⑤土の液性限界試験

適用基準書：物価資料による

##### ⑥土の塑性限界試験

適用基準書：物価資料による

##### ⑦土の一軸圧縮試験

適用基準書：物価資料による

5) 総合解析

①解析等調査

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-7-2 資料整理とりまとめ、断面図等の作成を適用

6) 電子成果品作成費

①電子成果品作成費

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-8-1 電子成果品作成費を適用

2. 間接調査費

1) 準備費

①準備及び跡片付け

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-6-1 準備及び跡片付けを適用

②調査孔閉塞

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-6-1 調査孔閉塞を適用

2) 仮設費

①足場仮設

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-5-1 平坦地足場を適用

3) 安全費

①環境保全（仮囲い）

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-6-1 環境保全を適用

②交通誘導警備員

1式当たり

名称	規格	単位	数量	摘要
交通誘導警備員A		人日	15	
交通誘導警備員B		人日	15	

4) 旅費交通費

①旅費（率計上・宿泊無）

本業務は旅費交通費を率化することにより業務改善を行う試行業務である。本業務において打合せ、関係機関協議、現地作業（現地調査等含む）にかかる旅費交通費は直接人件費の2.14%として計上している。なお、契約変更によって直接人件費の増減があった場合の旅費交通費においては変更後の直接人件費に対し率を乗じた額により計上する。ただし、旅費交通費の上限は102.6万円とし、変更によって宿泊が生じた場合は本試行の対象外とする。

5) 施工管理費

①施工管理費

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-8-2 施工管理費を適用

3. 解析等調査

1) 解析等調査

①解析等調査

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第2節2-7-2 既存資料の収集・現地調査、資料整理とりまとめ、断面図等の作成、総合解析とりまとめを適用

4. 共通

1) 打合せ等

①打合せ

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第2編第2章第1節1-1 打合せ等を適用  
(土木設計業務)

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同(参考資料)」によるもとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 一般構造物設計

①プレキャスト土留型特殊部詳細設計

1箇所当たり

	直接人件費						直接経費	備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	電子計算機 使用料	
設計計画		1.00					2%	
設計条件の確認			0.50				2%	
設計計算				1.00	2.00		2%	
設計図				1.00	2.50	3.00	2%	
数量計算					1.00	2.00	2%	
照査			0.50				2%	
報告書作成				0.50	1.00	1.00	2%	

※電子計算機使用料には、直接人件費の合計額に対する率(%)を記載してください。

※「1箇所あたり」とは、本事業で施工する全事業区間を一式見込んだものとする。

2) 道路付属物設計

①交差点照明施設詳細設計

1箇所当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
設計計画			0.30				
設計条件の確認・交差点照明施設設計						1.30	
設計図					1.00	2.70	
数量計算				0.60	1.80		
照査			0.60	0.50	0.30		

### 3) 地下構造物設計

#### ①電線共同溝詳細設計（修正）

（全体設計）

1 箇所当たり

	直接人件費						直接経費	備考	
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	電子計算機 使用料		
設計計画	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50		2%		
全 体 計 画	現地踏査		0.50	1.50	1.00	0.50		2%	
	設計条件の整理検討		1.50	1.00	1.50	0.50	1.00	2%	
	平面・縦断線形設計		1.00	2.00	3.00	3.00	3.50	2%	
	数量計算			1.50	2.50	3.50	5.00	2%	
管路部設計			1.50	2.50	2.50	3.50	2%		
特殊部設計			2.50	2.50	2.50	4.50	2%		
地上機器部設計			2.00	2.00	2.00	1.50	2%		
施工計画		1.00	1.00	1.50	0.50		2%		
関係者との協議資料作成		1.00	1.00	2.50	1.50	1.50	2%		
照査		1.00	1.50	3.00	3.00		2%		
報告書作成		1.00	2.00	2.50	0.50	2.00	2%		

（各部設計）

1 ケース当たり

	直接人件費						直接経費	備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	電子計算機 使用料	
管路部詳細設計			0.50	0.50				
特殊部詳細設計			0.50	0.50	1.00			
地上機器部詳細設計				0.50	0.50			
仮設構造物詳細設計				0.50	1.00			

（歩掛の補正）

設計延長による補正率	102%
応力計算ケース数による補正率	100%

※電子計算機使用料には、直接人件費の合計額に対する率（%）を記載してください。

### 4) 仮設構造物設計

#### ①土留工詳細設計（自立式：基本構造物）

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章13-1-1 土留工詳細設計を適用

#### ②土留工詳細設計（自立式：類似構造物）

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章13-1-1 土留工詳細設計を適用

5) 共通

①設計業務に係る調整業務

1年当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
計画準備	0.50	1.00	2.00	2.00			
調整監理	1.35	9.88	31.49	34.08	199.23	47.56	
打合せ			28.80	28.80			

②打合せ

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-1 打合せ等 を適用  
 なお、打合せ回数は中間打合せ3回を見込んでいる。

③関係機関打合せ協議

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-1 打合せ等 を適用

④照査技術者による報告

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-2 その他 を適用

⑤公開成果品作成

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第2章第1節1-3 公開成果品作成 を適用

2. 直接経費

1) 旅費交通費

①旅費（率計上・宿泊無）

本業務は旅費交通費を率化することにより業務改善を行う試行業務である。本業務において打合せ、関係機関協議、現地作業（現地踏査含む）にかかる旅費交通費は直接人件費の0.63%として計上している。なお、契約変更によって直接人件費の増減があった場合の旅費交通費においては変更後の直接人件費に対し率を乗じた額により計上する。ただし、旅費交通費の上限は24.4万円とし、変更によって宿泊が生じた場合は本試行の対象外とする。

2) 電子成果品作成費

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第1章第3節3-1 電子成果品作成費 を適用  
 計算式は、概略設計、予備設計又は詳細設計の設計業務を適用する。

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 北陸地方整備局  
新潟国道事務所 管理第二課



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
道路改良		式		1					
舗装工		式		1					
路面切削工		式		1					
路面切削	全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけ撤去作業 無 著しい時間的制約	m2		131		< 1 m2当り > 路面切削 施工区分・平均切削深さ=全面切削6cm以下(4000m2以下); 段差すりつけの撤去作業=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
殻運搬(路面切削)	As殻(切削) 著しい時間的制約	m3		7		< 1 m3当り > 殻運搬(路面切削) DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=2.5km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	
殻処分	アスファルト殻(切削)	m3		7		< 1 m3当り > 処分費(t)	t	2.35	
アスファルト舗装工(車道)		式		1					
基層(車道・路肩部)	②再生粗粒度アスコン(20) t=50mm 1.4m ≤W≤3.0m 著しい時間的制約	m2		300		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50mm; 材料=②再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
表層(車道・路肩部)	⑥密粒度アスコン(新20FH)改質材入 t=50mm 1.4m≦W≦3.0m 著しい時間的制約	m2		432		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50mm; 材料=⑥密粒度アスコン(新20FH)改質材入; 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
アスファルト舗装工 (I種乗入)		式		1					
表層(歩道部)	⑧再生密粒度アスコン(13) t=40mm 1.4m≦W 著しい時間的制約	m2		297		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40mm; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
アスファルト舗装工 (II種乗入)		式		1					
基層(歩道部)	②再生粗粒度アスコン(20) t=60mm 1.4m≦W 著しい時間的制約	m2		123		< 1 m2当り > 基層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=60mm; 材料=②再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
表層(歩道部)	⑧再生密粒度アスコン(13) t=40mm 1.4m≦W 著しい時間的制約	m2		123		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40mm; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
アスファルト舗装工 (歩道部)		式		1					
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=60mm 著 しい時間的制約	m2		64		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=60 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(歩道部)	⑧再生密粒度アスコン (13) t=40mm 1.4m ≦W 著しい時間的 制約	m2		3,050		< 1 m2当り > 表層 (歩道部) 平均幅員=1.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以 下)(実数入力)=40 mm; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13) ; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全て の費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工 (車道 仮復旧)		式		1					
下層路盤(車道・路肩部)	RC-40 t=300mm 著 しい時間的制約	m2		202		< 1 m2当り > 下層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)=300 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	M-40 t=100mm 著 しい時間的制約	m2		202		< 1 m2当り > 上層路盤 (車道・路肩部) 材料=粒度調整碎石 M-40; 全仕上り厚(実数入力)=1 00 mm; 施工区分=1層施工; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部)	②再生粗粒度アスコン(20) t=50mm W<1.4m 著しい時間的制約	m2		202		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=②再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(車道・路肩部)	⑥密粒度アスコン(新20FH)改質材入 t=50mm W<1.4m 著しい時間的制約	m2		202		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=⑥密粒度アスコン(新20FH)改質材入; 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工 (I種乗入 仮復旧)		式		1					
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=300mm 著しい時間的制約	m2		129		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=300 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(歩道部)	⑧再生密粒度アスコン(13) t=40mm W<1.4m 著しい時間的制約	m2		129		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工 (II種乗入 仮復旧)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=310mm 著しい時間的制約	m2		40		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=310 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
表層(歩道部)	⑧再生密粒度アスコン(13) t=40mm W<1.4m 著しい時間的制約	m2		40		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
アスファルト舗装工(歩道部 仮復旧)		式		1					
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=150mm 著しい時間的制約	m2		1,470		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
表層(歩道部)	⑧再生密粒度アスコン(13) t=40mm W<1.4m 著しい時間的制約	m2		1,470		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
化粧蓋舗装	⑧再生密粒度アスコン(13) t=40mm W<1.4m 著しい時間的制約	m2		47		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
ブロック舗装工		式		1					
特殊ブロック舗装	設置誘導ブロック(点状・線状) 300×300×60 著しい時間的制約	m2		199		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置; ブロック規格=30cm×30cm;	m2	1	
擁壁工		式		1					
作業土工		式		1					
床掘り	土砂 著しい時間的制約	式		1		床掘り 土質=土砂; 施工方法=標準; 土留方式の種類=自立式; 障害の有無=無し;	m3	1,400	
埋戻し	土砂 著しい時間的制約	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m以上4m未満;	m3	980	
基面整正	著しい時間的制約	式		1		基面整正	m2	409	
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満 著しい時間的制約	式		1		積込(ルーズ) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m3	1,100	
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 著しい時間的制約	式		1		土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=11.0km以下;	m3	2,460	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
整地	残土受け入れ地での処理	式		1		整地 作業区分=残土受け入れ地での処理;	m 3	1,400	
プレキャスト擁壁工		式		1					
プレキャスト擁壁	LW-H2000-B I -L4000 著しい時間的制約	m		17		< 10 m当り > L型擁壁【施工単価】 LW-H2000-B I -L4000 著しい時間的制約 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パックホウ(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤65%; 養生工の種類=養生無し; 費用の内訳=全ての費用;	m m 2 m 3	10 17 1.7	
プレキャスト擁壁	LW-H2500-B I -L4000 著しい時間的制約	m		45		< 10 m当り > L型擁壁【施工単価】 LW-H2500-B I -L4000 著しい時間的制約 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パックホウ(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤65%; 養生工の種類=養生無し; 費用の内訳=全ての費用;	m m 2 m 3	10 19.5 1.95	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャスト擁壁	LW-H2750-B I -L2000 著しい時間的制約	m		39		< 10 m当り > L型擁壁【施工単価】 LW-H2750-B I -L2000 著しい時間的制約 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パックホウ(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤65%；養生工の種類=養生無し；費用の内訳=全ての費用；	m m 2 m 3	10 21 2.1	
プレキャスト擁壁	LW-H3000-B I -L4000 著しい時間的制約	m		55		< 10 m当り > L型擁壁【施工単価】 LW-H3000-B I -L4000 著しい時間的制約 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パックホウ(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤65%；養生工の種類=養生無し；費用の内訳=全ての費用；	m m 2 m 3	10 22.5 2.25	
プレキャスト擁壁	LW-H3500-B I -L2000 著しい時間的制約	m		25		< 10 m当り > L型擁壁【施工単価】 LW-H3500-B I -L2000 著しい時間的制約 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パックホウ(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤65%；養生工の種類=養生無し；費用の内訳=全ての費用；	m m 2 m 3	10 25.5 2.25	



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャスト擁壁	LW-H4500-B I -L2000 著しい時間的制約	m		7		< 10 m当り > L型擁壁【施工単価】 LW-H4500-B I -L2000 著しい時間的制約 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類=再生クラッシュ 40~0；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=バックホ(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=鉄筋・無筋構造物；	m m 2 m 3 m 2	10 31.5 4.73 3	
土留コンクリート		式		1					
土留コンクリート	18-8-40BB W/C≤60% 著しい時間的制約	m3		9		< 1 m3当り > コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=人力打設；コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	
型枠	著しい時間的制約	式		1		型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=鉄筋・無筋構造物；	m 2	94	
排水構造物工		式		1					
側溝工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
フレキャストL型側溝	La-20-L1000 著しい時間的制約	m		30		< 1 m当り > L型側溝【施工単価】 La-20-L1000 著しい時間的制約	m	1	
フレキャストU型側溝	PUT-B400-L2000 著しい時間的制約	m		7		< 1 m当り > U型側溝 作業区分=据付け; L=1000mm・L=4000mm・L=5000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=無し; U型側溝の種類=側溝(各種); U型側溝の規格・仕様=L=2000mm; U型側溝の質量=1000kg/個以下; 時間的制約の有無=著しく有り; 施工箇所における補正=無し; 基礎碎石施工の有無=有り; 基礎碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 基礎碎石設計数量(実数入力)=0.63 m3/10m;	m	1	
自由勾配側溝	FU-B300-C300-L2000 著しい時間的制約	m		74		< 1 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=無し; 規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下; 時間的制約の有無=著しく有り; 基礎コンクリートの種類=18-8-40BB W/C≤65%; 基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.25 m3/10m; 基礎碎石施工の有無=有り; 基礎碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 基礎碎石設計数量(実数入力)=0.6 m3/10m; 底部コンクリートの種類=18-8-25BB W/C≤65%; 底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.15 m3/10m;	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
自由勾配側溝	FU-B300-C400-L2000 著しい時間的制約	m		69		< 1 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=無し；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=著しく有り；基礎コンクリートの種類=18-8-40BB W/C≤65%；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.61 m3/10m；底部コンクリートの種類=18-8-25BB W/C≤65%；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.15 m3/10m；	m	1	
自由勾配側溝	FU-B300-C500-L2000 著しい時間的制約	m		18		< 1 m当り > 自由勾配側溝 夜間作業の有無=無し；規格・仕様区分=L=2000mm 1000kg/個以下；時間的制約の有無=著しく有り；基礎コンクリートの種類=18-8-40BB W/C≤65%；基礎コンクリート設計数量(実数入力)=0.26 m3/10m；基礎砕石施工の有無=有り；基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40～0；基礎砕石設計数量(実数入力)=0.61 m3/10m；底部コンクリートの種類=18-8-25BB W/C≤65%；底部コンクリート設計数量(実数入力)=0.15 m3/10m；	m	1	
側溝蓋	CT-B400-L500 著しい時間的制約	枚		14		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=無し；蓋版の種類=CT-B400-L500；規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下；時間的制約の有無=著しく有り；施工箇所における補正=無し；	枚	1	
側溝蓋	C-C-T-B300-L500 著しい時間的制約	枚		108		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=無し；蓋版の種類=C-C-T-B300-L500；規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下；時間的制約の有無=著しく有り；施工箇所における補正=無し；	枚	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
側溝蓋	C-G-T-B300-L995 著しい時間的制約	枚		26		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=C-G-T-B300-L995; 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の有無=著しく有り; 施工箇所における補正=無し;	枚	1	
集水樹・マンホール工		式		1					
現場打ち集水樹	MA種 18-8-40BB W /C≤60% 著しい時間的制約	箇所		2		< 1 箇所当り > コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=18-8-40B W/C≤60%; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=小型構造物; 基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m 3  m 2 m 2	0.19  2.38 0.72	
蓋	MSGT-300-400 細目 著しい時間的制約	枚		2		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=MSGT-300-400 細目; 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の有無=著しく有り; 施工箇所における補正=無し;	枚	1	
縁石工		式		1					
縁石工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック	Fa-I-200-2000 著しい時間的制約	m		7		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック【施工単価】 Fa-I-200-2000 著しい時間的制約	m	1	
歩車道境界ブロック	Fb-200-2000 著しい時間的制約	m		74		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック【施工単価】 Fb-200-2000 著しい時間的制約	m	1	
歩車道境界ブロック	Fc-20-1000 著しい時間的制約	m		14		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック【施工単価】 Fc-20-1000 著しい時間的制約	m	1	
歩車道境界ブロック	Fc-50-1000 著しい時間的制約	m		1		歩車道境界ブロック【施工単価】 Fc-50-1000 著しい時間的制約	m	1	
植栽樹	著しい時間的制約	m		172		< 1 m当り > 地先境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=C種(150×150×600); 基礎碎石規格=再生クラッシュラン RC-40; 均し基礎コンクリート規格=無し;	m	1	
防護柵工		式		1					
防止柵工		式		1					
転落(横断)防止柵	P1-0.8-3.0E 土中建込 著しい時間的制約	m		53		< 1 m当り > 防護柵(横断・転落防止柵)設置工 施工区分=土中建込; 防護柵種類=ビーム式・パネル式; 支柱間隔=3m; 根巻きコンクリートの有無=無; 施工規模による加算=100m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=有; 夜間作業の補正=無;	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
転落(横断)防止柵	P1-1.1-3.0E 土中建込 著しい時間的制約	m		45		< 1 m当り > 防護柵(横断・転落防止柵)設置工 施工区分=土中建込; 防護柵種類=ビーム式・パネル式; 支柱間隔=3m; 根巻きコンクリートの有無=無; 施工規模による加算=100m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=有; 夜間作業の補正=無;	m	1	
転落(横断)防止柵	P1-0.8-3.0B コンクリート建込 著しい時間的制約	m		15		< 1 m当り > 防護柵(横断・転落防止柵)設置工 施工区分=コンクリート建込; 防護柵種類=ビーム式・パネル式; 支柱間隔=3m; 施工規模による加算=100m未満; 夜間作業の補正=無;	m	1	
転落(横断)防止柵	P1-1.1-3.0 ベースプレート式 アンカールット固定 著しい時間的制約	m		170		< 1 m当り > 防護柵(横断・転落防止柵)設置工 施工区分=アンカールット固定; 防護柵種類=ビーム式・パネル式; 支柱間隔=3m; 施工規模による加算=100m以上(標準); 時間的制約を受ける場合の補正=有; 夜間作業の補正=無;	m	1	
区画線工		式		1					
区画線工		式		1					
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 著しい時間的制約	m		65		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=無し; 施工方法区分=溶融式手動; 豪雪補正の有無=有り; 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm; 時間的制約の有無=著しく有り; 塗布厚=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; 溶融式塗料規格=含有量15~18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
熔融式区画線	熔融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 著しい時間的制約	m		26		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=無し； 施工方法区分=熔融式手動； 豪雪補正の有無=有り； 規格・仕様区分=矢印・記号・文字 15cm換算； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 熔融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
ペイント式区画線	ペイント式 水性型 実線 15cm 常温 著しい時間的制約	m		18		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=無し； 施工方法区分=ペイント式水性型； 豪雪補正の有無=有り； 規格・仕様区分=実線 15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 未供用区間の場合の補正=無し； ペイント式塗料規格=常温； 塗料区分=白； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
ペイント式区画線	ペイント式 水性型 破線 15cm 常温 著しい時間的制約	m		76		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=無し； 施工方法区分=ペイント式水性型； 豪雪補正の有無=有り； 規格・仕様区分=破線 15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 未供用区間の場合の補正=無し； ペイント式塗料規格=常温； 塗料区分=白； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
ペイント式区画線	ペイント式 水性型 実線 15cm 加熱 著しい時間的制約	m		9		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=無し； 施工方法区分=ペイント式水性型； 豪雪補正の有無=有り； 規格・仕様区分=実線 15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 未供用区間の場合の補正=無し； ペイント式塗料規格=加熱； 塗料区分=白； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
構造物撤去工		式		1					
防護柵撤去工		式		1					
防護柵(横断・転落防止柵)撤去	著しい時間的制約	式		1		防護柵(横断・転落防止柵)撤去工 施工区分=コンクリート建込; 防護柵種類=ヒール式・パネル式; 支柱間隔=3m; 時間的制約を受ける場合の補正=有; 夜間作業の補正=無;	m	283	
構造物取壊し工		式		1					
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工 著しい時間的制約	m3		75		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物; 工法区分=機械施工; 時間的制約の有無=著しく有り; 夜間作業の有無=無し; 低騒音・低振動対策=必要;	m3	1	
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工 著しい時間的制約	m3		11		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=鉄筋構造物; 工法区分=機械施工; 時間的制約の有無=著しく有り; 夜間作業の有無=無し; 低騒音・低振動対策=必要;	m3	1	
コンクリート構造物取壊し	二次製品(鉄筋) 機械施工 著しい時間的制約	m3		69		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物; 工法区分=機械施工; 時間的制約の有無=著しく有り; 夜間作業の有無=無し; 低騒音・低振動対策=必要;	m3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 t≦15cm 著しい時間的制約	式		1		舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	2,396	



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t≦15cm 著しい時間的制約	m2		5,781		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
鋼材切断	鋼矢板(II, III, IV, V, VL, IIw, IIIw, IVw, 10H, 25H型) 著しい時間的制約	箇所		685		< 1 箇所当り > ガス切断 鋼材規格=鋼矢板(II, III, IV, V, VL, IIw, IIIw, IVw, 10H, 25H型);	箇所	1	
運搬処理工		式		1					
殻運搬	アスファルト殻 著しい時間的制約	m3		910		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=3.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	
殻運搬	コンクリート殻(無筋) 著しい時間的制約	m3		75		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし; 積込工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有無)=5.7km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	
殻運搬	コンクリート殻(鉄筋) 著しい時間的制約	m3		11		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし; 積込工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有無)=5.7km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	二次製品(鉄筋) 著しい時間的制約	m3		69		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし; 積込 工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距 離(km)(DID区間有無)=5.7km以下; 費用の内訳=全て の費用;	m3	1	
殻処分	アスファルト殻(掘削)	m3		910		< 1 m3当り > 処分費(t)	t	2.35	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		75		< 1 m3当り > 処分費(t)	t	2.35	
殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3		11		< 1 m3当り > 処分費(t)	t	2.5	
殻処分	二次製品(鉄筋)	m3		69		< 1 m3当り > 処分費(t)	t	2.5	
現場発生品運搬	防護柵・転落防止 柵 著しい時間的 制約	式		1		現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベ-ストラック2t級、吊能力2. 9t; DID区間の有無=有り; 片道運搬距離(km)DID有= 7.0km以下; 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベ-ストラック2t級、吊能力2. 9t;	t	3.7	
現場発生品運搬	鋼矢板 著しい時 間的制約	式		1		現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベ-ストラック4~4.5t級、吊 能力2.9t; DID区間の有無=有り; 片道運搬距離(km) DID有=7.0km以下; 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベ-ストラック4~4.5t級、吊 能力2.9t;	t	208	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
仮設工		式		1					
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		式		1		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日 人日	3,300 3,300	
交通誘導警備員	夜間	式		1		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日 人日	387 393	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工 (一般部 BR)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
軽量鋼矢板(電線共同溝)	II型 t=5mm 著しい時間的制約					軽量鋼矢板設置・撤去 [L=1.5m]	m	751
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数22日 整備費有1回	枚	70
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数40日 整備費有2回	枚	46
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数55日 整備費有3回	枚	21
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数69日 整備費有4回	枚	53
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数79日 整備費有5回	枚	37
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数86日 整備費有6回	枚	3
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数101日 整備費有8回	枚	21
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数107日 整備費有9回	枚	11
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数112日 整備費有10回	枚	8
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数117日 整備費有11回	枚	8
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数121日 整備費有12回	枚	10
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数125日 整備費有13回	枚	14
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数127日 整備費有14回	枚	2
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数135日 整備費有17回	枚	6
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数143日 整備費有21回	枚	9

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				(当初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数145日 整備費有 22回	枚	3	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数146日 整備費有 23回	枚	4	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数148日 整備費有 25回	枚	2	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数149日 整備費有 26回	枚	12	
						[L=2.0m]			
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数14日 整備費有 1回	枚	143	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数28日 整備費有 4回	枚	7	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数32日 整備費有 5回	枚	12	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数35日 整備費有 6回	枚	3	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数39日 整備費有 7回	枚	16	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数43日 整備費有 9回	枚	17	
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数44日 整備費有 10回	枚	14	
						[L=2.5m]			
		式		1		軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.5m 供用日数5日 整備費有 1回	枚	80	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				( 当 初 )	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し						【L=1.5m部】			
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数22日 1回	本	5	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数40日 2回	本	2	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数55日 3回	本	2	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数69日 4回	本	3	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数79日 5回	本	2	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数86日 6回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数101日 8回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数107日 9回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数117日 11回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数125日 13回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数135日 17回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数146日 23回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数149日 26回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数22日 1回	本	5	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数40日 2回	本	2	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数55日 3回	本	2	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数69日 4回	本	3	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数79日 5回	本	2	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数86日 6回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数101日 8回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数107日 9回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数117日 11回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数125日 13回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数135日 17回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数146日 23回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数149日 26回	本	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				(当初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数125日 13回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数135日 17回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数146日 23回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数149日 26回	本	1	
						手動式水圧ポンプ 質料 タンク容量15～19L 供用日数149日 【L=2.0m部】	台	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数14日 1回	本	9	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数28日 4回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数35日 6回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数39日 7回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数43日 9回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数44日 10回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数14日 1回	本	9	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数28日 4回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数35日 6回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数39日 7回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数43日 9回	本	1	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数44日 10回	本	1	
						手動式水圧ポンプ 質料 タンク容量15～19L 供用日数44日 【L=2.5m部】	台	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数5日 1回	本	5	
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数5			

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
		式		1		日1回 手動式水圧ポンプ 貸料 タンク容量15~19L 供用日数5日	本 台	5 1	
土留・仮締切工 (特殊部 BR)		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)	II型 t=5mm 著しい時間的制約	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板貸料 II型 L=2.5m 供用日数18日 整備費有3回 軽量鋼矢板貸料 II型 L=2.5m 供用日数26日 整備費有5回 軽量鋼矢板貸料 II型 L=2.5m 供用日数28日 整備費有6回 軽量鋼矢板貸料 II型 L=3.0m 供用日数18日 整備費有3回 軽量鋼矢板貸料 II型 L=3.0m 供用日数26日 整備費有5回 軽量鋼矢板貸料 II型 L=3.5m 供用日数3日 整備費有1回	m 枚 枚 枚 枚 枚 枚 枚	352 50 47 52 46 101 73	



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し		式		1		【L=2.5m部】	t	1.2	
						山留材質料（供用18日,3回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有			
						山留材質料（供用26日,5回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有			
						山留材質料（供用28日,6回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有			
						【L=3.0m部】			
						山留材質料（供用18日,3回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有			
山留材質料（供用26日,5回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有									
山留材質料（供用3日,1回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有	t	2							
土留・仮締切工 (擁壁部 BR)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板	IV型 L=10.0m 打込長10.0m 引抜長10.0m 著しい時間的制約	式		1		鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=12m以下; ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上; 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=12m以下; ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上; ; 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=10 m/枚; 供用日数(実数入力)=11 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回; ;	枚	54	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				( 当 初 )	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板	IV型 L=12.0m 打込長12.0m 引抜長12.0m 著しい時間的制約					鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=12m以下;	枚	166	
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;	回	4	
						鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=12m以下;	枚	166	
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;	回	4	
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=12 m/枚; 供用日数(実数入力)=14 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回;	枚	16	
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=12 m/枚; 供用日数(実数入力)=23 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=2 回;	枚	19	
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=12 m/枚; 供用日数(実数入力)=27 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=3 回;	枚	12	
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入	枚	19	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
		式		1		力)=12 m/枚; 供用日数(実数入力)=28 日; 継続工 事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工 法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回 ;			
鋼矢板	IV型 L=13.0m 打 込長13.0m 引抜長 13.0m 著しい時間 的制約	式		1		鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=15m以下 ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工 場所=陸上; 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=15m以下 ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸 上; 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入 力)=13 m/枚; 供用日数(実数入力)=26 日; 継続工 事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工 法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回 ;	枚	117	
						回	1		
						枚	117		
						回	1		
						枚	117		

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				( 当 初 )	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板	IV型 L=14.0m 打込長14.0m 引抜長14.0m 著しい時間的制約					鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)	枚	188	
						施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=15m以下; ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	3	
						作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;			
						鋼矢板引抜き	枚	118	
						施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=15m以下; ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	3	
						作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;			
		式		1		鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)	枚	105	
						鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=14 m/枚; 供用日数(実数入力)=31 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回;			
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)	枚	13	
						鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=14 m/枚; 供用日数(実数入力)=35 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=2 回;			
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板)	枚	19	
						鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=14 m/枚; 供用日数(実数入力)=36 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=3 回;			

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板	IV型 L=16.0m 打込長16.0m 引抜長16.0m 著しい時間的制約	式		1		鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=19m以下; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上; 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=19m以下; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上; 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=16 m/枚; 供用日数(実数入力)=15 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回;	枚	74	
							回	1	
							枚	74	
							回	1	
							枚	74	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼矢板	IV型 L=20.0m 打込長20.0m 引抜長20.0m 著しい時間的制約					鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=20m以下; ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上; 鋼矢板引抜き 施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=20m以下; ; 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上; ; 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=20 m/枚; 供用日数(実数入力)=5 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回;	枚	37	
		式		1			回	1	
							枚	37	
							回	1	
							枚	37	
土留・仮締切工 (擁壁部 BR)									
		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
鋼矢板	IV型 L=16.0m 打込長16.0m 引抜長16.0m 著しい時間的制約					【土留型特殊部B8】		
						鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)	枚	70
						施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=19m以下;		
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1
						作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;		
						鋼矢板引抜き	枚	70
						施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=19m以下;		
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1
						作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;		
						【土留型特殊部B9】		
鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)	枚	108						
施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=19m以下;								
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1						
作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;								
鋼矢板引抜き	枚	108						
施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 引抜長=19m以下;								
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1						
作業区分=引抜き; 鋼矢板型式=IV型; 施工場所=陸上;								
【土留型特殊部B10】								
鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)	枚	115						
施工場所=陸上; 鋼矢板型式=IV型; 圧入長=19m以下;								
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1						
作業区分=圧入(Nmax ≤ 25); 鋼矢板型式=IV型; 施工								



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
						場所=陸上； 鋼矢板引抜き	枚	115	
						施工場所=陸上；鋼矢板型式=IV型；引抜長=19m以下；			
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1	
						作業区分=引抜き；鋼矢板型式=IV型；施工場所=陸上；			
						【土留型特殊部B11】			
						鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)	枚	53	
						施工場所=陸上；鋼矢板型式=IV型；圧入長=19m以下；			
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1	
						作業区分=圧入(Nmax ≤ 25)；鋼矢板型式=IV型；施工場所=陸上；			
						鋼矢板引抜き	枚	53	
						施工場所=陸上；鋼矢板型式=IV型；引抜長=19m以下；			
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1	
						作業区分=引抜き；鋼矢板型式=IV型；施工場所=陸上；			
						【土留型特殊部B12】			
						鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25)	枚	85	
						施工場所=陸上；鋼矢板型式=IV型；圧入長=19m以下；			
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1	
						作業区分=圧入(Nmax ≤ 25)；鋼矢板型式=IV型；施工場所=陸上；			
						鋼矢板引抜き	枚	85	
						施工場所=陸上；鋼矢板型式=IV型；引抜長=19m以下；			
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体	回	1	
						作業区分=引抜き；鋼矢板型式=IV型；施工場所=陸上；			

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
						上； 【土留型特殊部B13】 鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 25) 施工場所=陸上；鋼矢板型式=IV型；圧入長=19m以下；	枚	68
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=圧入(Nmax ≤ 25)；鋼矢板型式=IV型；施工場所=陸上；	回	1
						鋼矢板引抜き 施工場所=陸上；鋼矢板型式=IV型；引抜長=19m以下；	枚	68
						油圧式杭圧入引抜機据付・解体 作業区分=引抜き；鋼矢板型式=IV型；施工場所=陸上；	回	1
						【賃料】 鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型；鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=16 m/枚；供用日数(実数入力)=38 日；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の有無=有；補助工法の有無=無；一現場での使用回数(実数入力)=1 回；	枚	8
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型；鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=16 m/枚；供用日数(実数入力)=72 日；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の有無=有；補助工法の有無=無；一現場での使用回数(実数入力)=2 回；	枚	23
						鋼矢板賃料 (普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型；鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=16 m/枚；供用日数(実数入力)=98 日；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の有無=有；補助工法の有無=無；一現場での使用回数(実数入力)=3 回	枚	15

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
						; 鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=16 m/枚; 供用日数(実数入力)=117 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=4 回 ; 鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=16 m/枚; 供用日数(実数入力)=135 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回 ; 鋼矢板賃料(普通鋼矢板) 鋼矢板の種類=IV型; 鋼矢板1枚当りの長さ(実数入力)=16 m/枚; 供用日数(実数入力)=148 日; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の有無=有; 補助工法の有無=無; 一現場での使用回数(実数入力)=1 回 ;	枚	3	
		式		1					
土留・仮締切工 (一般部 BL)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
軽量鋼矢板(電線共同溝)	II型 t=5mm 著しい時間的制約					軽量鋼矢板設置・撤去	m	1,360
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数19日 整備費有1回	枚	45
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数35日 整備費有2回	枚	115
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数48日 整備費有3回	枚	4
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数61日 整備費有4回	枚	8
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数73日 整備費有5回	枚	12
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数85日 整備費有6回	枚	17
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数97日 整備費有7回	枚	36
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数107日 整備費有8回	枚	21
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数116日 整備費有9回	枚	15
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数125日 整備費有10回	枚	49
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数132日 整備費有11回	枚	12
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数138日 整備費有12回	枚	34
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数144日 整備費有13回	枚	13
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数149日 整備費有14回	枚	3
						軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数158日 整備費有16回	枚	1
軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数163日 整備費	枚							

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
						有 17回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数166日 整備費	枚	33
						有 18回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数169日 整備費	枚	18
						有 19回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数175日 整備費	枚	33
						有 22回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数176日 整備費	枚	3
						有 23回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数177日 整備費	枚	8
						有 24回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数181日 整備費	枚	5
						有 27回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数187日 整備費	枚	3
						有 33回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数188日 整備費	枚	7
						有 34回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数188日 整備費	枚	3
						有 35回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数189日 整備費	枚	4
						有 36回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=1.5m 供用日数189日 整備費	枚	7
						有 38回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数2日 整備費	枚	8
						1回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数5日 整備費	枚	34
						3回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数5日 整備費	枚	26
		式		1		4回 軽量鋼矢板賃料 II型 L=2.0m 供用日数5日 整備費	枚	6

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				(当初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し						【L=1.5m部】			
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数19日 1回	本	3	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数35日 2回	本	7	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数61日 4回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数73日 5回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数85日 6回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数97日 7回	本	2	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数107日 8回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数116日 9回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数125日 10回	本	3	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数132日 11回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数138日 12回	本	2	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数144日 13回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数163日 17回	本	2	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数166日 18回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数169日 19回	本	3	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数177日 24回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数188日 35回	本	1	
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数189日 38回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数19日 1回	本	3	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数35日 2回	本	7	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数61日 4回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数73日 5回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数85日 6回	本	1	
						切梁ホ-ト材質料 水圧ホ-ト 1100～1800mm 供用日数97日 7回	本	2	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
						07日 8回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						16日 9回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						25日 10回	本	3
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						32日 11回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						38日 12回	本	2
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						44日 13回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						63日 17回	本	2
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						66日 18回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						69日 19回	本	3
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						77日 24回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						88日 35回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数1		
						89日 38回	本	1
						手動式水圧ポンプ 賃料 タンク容量15～19L 供用日数189日	台	1
						【L=2.0m部】		
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数2日 1回	本	3
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数5日 3回	本	1
						腹起し材質料 アルミ腹起し 4m/本 供用日数5日 4回	本	1
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数2		
						日 1回	本	3
						切梁ホト材質料 水圧ホト 1100～1800mm 供用日数5		
						日 3回	本	1

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
		式		1		切梁ボルト材質料 水圧ボルト 1100~1800mm 供用日数5日 4回	本	1	
		式		1		手動式水圧ポンプ 貨料 タンク容量15~19L 供用日数5日	台	1	
土留・仮締切工 (特殊部 BL)		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)	II型 t=5mm 著しい時間的制約	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 [L=2.0m] 軽量鋼矢板貨料 II型 L=2.0m 供用日数35日 整備費有1回 [L=2.5m] 軽量鋼矢板貨料 II型 L=2.5m 供用日数12日 整備費有3回 軽量鋼矢板貨料 II型 L=2.5m 供用日数15日 整備費有5回 [L=3.0m] 軽量鋼矢板貨料 II型 L=3.0m 供用日数6日 整備費有2回 軽量鋼矢板貨料 II型 L=3.0m 供用日数7日 整備費有3回	m  枚  枚  枚  枚  枚	747  303  95  104  85  67	



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し		式		1		【L=2.0m部】 山留材賃料（供用35日,6回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有 【L=2.5m部】 山留材賃料（供用12日,3回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有 山留材賃料（供用15日,5回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有 【L=3.0m部】 山留材賃料（供用6日,2回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有 山留材賃料（供用7日,3回/現場） 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有	t	7.4	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削	土砂 著しい時間 的制約	式		1		床掘り	m <sup>3</sup>	4,000	
土砂等運搬	土砂 著しい時間 的制約	式		1		運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有)=22.5km以下；	m <sup>3</sup>	3,980	
整地	残土受入れ地での 処理	式		1		整地 作業区分=残土受入れ地での処理；	m <sup>3</sup>	4,000	
埋戻し工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋戻し・締固め	土砂 著しい時間 的制約	式		1		埋戻し・締固め 土質=土砂;	m <sup>3</sup>	1,200	
埋戻し・締固め	中埋砂 著しい時間 的制約	式		1		埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m <sup>3</sup>	550	
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m <sup>3</sup> 未満 著しい時間 的制約	式		1		積込(ルーズ) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m <sup>3</sup> 未満;	m <sup>3</sup>	1,400	
土砂等運搬	土砂 著しい時間 的制約	式		1		運搬(電線共同溝) 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=22.5km以下;	m <sup>3</sup>	1,390	
土砂等運搬	砂 著しい時間 的制約	式		1		運搬(電線共同溝) 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下;	m <sup>3</sup>	580	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部) 【電力】		式		1					
埋設管路	角型FEP φ100 著 しい時間的制約	m		1,082		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路	角型FEP φ130 著 しい時間的制約	m		2,127		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
ロンク <sup>®</sup> ヘルマウス	角型FEP φ100	個		40		< 1 個当り > ロンク <sup>®</sup> ヘルマウス 角型FEP φ100 L200	個	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ロンク <sup>®</sup> ベルマウス	角型FEP φ130	個		70		< 1 個当り > ロンク <sup>®</sup> ベルマウス 角型FEP φ130 L200	個	1	
止水栓	角型FEP φ100	個		40		< 1 個当り > 止水栓 角型FEP φ100	個	1	
止水栓	角型FEP φ130	個		70		< 1 個当り > 止水栓 角型FEP φ130	個	1	
導入線	電力系 コックコート <sup>®</sup>	m		3,232		< 1 m当り > 電力系導入線 コックコート <sup>®</sup>	m	1	
埋設表示シート	W=400 塩ビ <sup>®</sup> 製 2倍長	m		1,030		< 1 m当り > 埋設表示シート (材料費)	m	1	
管路工(管路部) 【通信】		式		1					
埋設管路	角型FEP φ50 著しい時間的制約	m		1,961		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1	
埋設管路	角型FEP φ75 著しい時間的制約	m		2,324		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1	
埋設管路	角型FEP φ100 著しい時間的制約	m		1,836		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1	
埋設管路	PV管 φ50 著しい時間的制約	m		56		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	PV管 曲管 5R φ50 著しい時間的制約	m		32		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路	VP管 φ100 著しい時間的制約	m		27		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路	VP管 曲管 5R φ100 著しい時間的制約	m		13		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路	共用FA管 VP管 φ150 著しい時間的制約	m		774		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1	
埋設管路	ボデイ管 VP管 φ150mm 著しい時間的制約	m		186		< 1 m当り > 管路材設置工 埋設管 ボデイ管(φ150mm)設置(さや管含む)	m	1	
埋設管路	ボデイ管 VP管 曲管 10R φ150 著しい時間的制約	m		24		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=ボデイ管(φ200mm)設置(さや管含む); さや管の条数=標準以外の組合せ(φ50, φ30使用); さや管(φ50)の条数(標準以外の組合せ)(実=0本; さや管(φ30)の条数(標準以外の組合せ)(実=0本; さや管別途計上	m	1	
埋設管路	EB管 曲管 5R φ150 著しい時間的制約	m		36		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路	EB管 曲管 10R φ150 著しい時間的制約	m		48		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事				
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項				
						名称	単位	数量		
埋設管路	ホテイ管 VP管 ロータス管 起点側 φ150 1.2m/本 著しい 時間的制約	本		4		< 10 本当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ200mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準以外の組合せ(φ50, φ30使用)；さや管(φ50)の条数(標準以外の組合せ)(実=0 本；さや管(φ30)の条数(標準以外の組合せ)(実=0 本；さや管別途計上 ホテイ管 ロータス管(起点側) φ150	m	12	本	10
埋設管路	ホテイ管 VP管 ロータス管 終点側 φ150 1.14m/本 著しい 時間的制約	本		4		< 10 本当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ200mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準以外の組合せ(φ50, φ30使用)；さや管(φ50)の条数(標準以外の組合せ)(実=0 本；さや管(φ30)の条数(標準以外の組合せ)(実=0 本；さや管別途計上 ホテイ管 ロータス管(終点側) φ150	m	11.4	本	10
埋設管路	ホテイ管 VP管 スライト管 φ150 著しい時間的制約	本		4		< 10 本当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ200mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=標準以外の組合せ(φ50, φ30使用)；さや管(φ50)の条数(標準以外の組合せ)(実=0 本；さや管(φ30)の条数(標準以外の組合せ)(実=0 本；さや管別途計上 ホテイ管 スライト管 φ150	m	0.62	本	10
埋設管路	共用FA管 VP管 やりとり継手 φ150 0.25m/本 著しい 時間的制約	本		15		< 10 本当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置； 共用FA管 やりとり継手 VP φ150 L=0.25m/本	m	2.5	本	10
さや管	SU管 φ30 L=1.1m	m		18		< 1 m当り > さや管SU(短管) φ30 有効長1.1m	m	1		

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
さや管	SU管 φ30 L=5.0m	m		421		< 1 m当り > さや管SU(直管) φ30 有効長5m	m	1	
さや管	SU管 φ50 L=1.1m	m		18		< 1 m当り > さや管SU(短管) φ50 有効長1.1m	m	1	
さや管	SU管 φ50 L=5.0m	m		421		< 1 m当り > さや管SU(直管) φ50 有効長5m	m	1	
ダクトスリーブ	PV管 φ50用	個		24		< 1 個当り > ダクトスリーブ PV管 φ50用	個	1	
ダクトスリーブ	VP管 φ100用	個		2		< 1 個当り > ダクトスリーブ VP管 φ100用	個	1	
ダクトスリーブ	VP管 φ150用	個		38		< 1 個当り > ダクトスリーブ VP管(共用FA管) φ150	個	1	
ロングヘルマウス	角型FEP φ50 L200	個		92		< 1 個当り > ロングヘルマウス 角型FEP φ50 L200	個	1	
ロングヘルマウス	角型FEP φ75 L200	個		114		< 1 個当り > ロングヘルマウス 角型FEP φ75 L200	個	1	
ロングヘルマウス	角型FEP φ100 L200	個		84		< 1 個当り > ロングヘルマウス 角型FEP φ100 L200	個	1	
止水栓	PV管 φ50	個		24		< 1 個当り > 止水栓 PV管 φ50	個	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
止水栓	VP管 φ100	個		2		< 1 個当たり > 止水栓 VP管 φ100	個	1	
止水栓	VP管 φ150	個		30		< 1 個当たり > 止水栓 VP管 φ150	個	1	
止水栓	SU管 φ30	個		16		< 1 個当たり > 止水栓 SU管 φ30	個	1	
止水栓	SU管 φ50	個		16		< 1 個当たり > 止水栓 SU管 φ50	個	1	
止水栓	角型FEP φ50	個		92		< 1 個当たり > 止水栓 角型FEP φ50	個	1	
止水栓	角型FEP φ75	個		114		< 1 個当たり > 止水栓 角型FEP φ75	個	1	
止水栓	角型FEP φ100	個		84		< 1 個当たり > 止水栓 角型FEP φ100	個	1	
ケーブル防護管	FEP φ100 L=500	本		17		< 1 本当たり > ケーブル防護管 FEP管 φ100 L=50cm	本	1	
枕材	塩ビ管用 φ100用 150mm幅	個		75		< 1 個当たり > 管枕 塩ビ管用 φ100用 150mm幅	個	1	
枕材	塩ビ管用 φ150用 220mm幅	個		673		< 1 個当たり > 管枕 塩ビ管用 φ150用 220mm幅	個	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
枕材	塩ビ管用 φ150用 250mm幅	個		210		< 1 個当り > 管枕 VP管(共用FA管) φ150用 250mm幅	個	1	
導入線	通信系 PP管	m		7,167		< 1 m当り > 通信系導入線 PP管	m	1	
埋設表示シート	W=400 塩ビ製 2倍長	m		739		< 1 m当り > 埋設表示シート (材料費)	m	1	
埋設表示シート	W=600 塩ビ製 2倍長	m		244		< 1 m当り > 埋設表示シート (材料費)	m	1	
管路工(管路部) 【低圧T分岐管路】		式		1					
埋設管路	MCCP管 φ100 著しい時間的制約	m		1		管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路	MCCP管 曲管 5R φ100 著しい時間的制約	m		2		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路	角型FEP φ100 著しい時間的制約	m		938		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1	
ダクトスリーブ	VP管 φ100用	個		1		ダクトスリーブ VP管 φ100用	個	1	
ロンクベルマウス	角型FEP φ100 L120	個		67		< 1 個当り > ロンクベルマウス 角型FEP φ100 L120	個	1	



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
ロンク <sup>ス</sup> ベルマウス	角型FEP φ100 L200	個		28		< 1 個当り > ロンク <sup>ス</sup> ベルマウス 角型FEP φ100 L200	個	1	
電力管変換用アダプター	塩ビ管-鋼管 φ100	個		4		< 1 個当り > 電力管変換用アダプター 塩ビ管-鋼管用 φ100	個	1	
電力管変換用アダプター	角型FEP-塩ビ管 φ100	個		4		< 1 個当り > 電力管変換用アダプター 角型FEP-塩ビ管用 φ100	個	1	
止水栓	角型FEP φ100	個		28		< 1 個当り > 止水栓 角型FEP φ100	個	1	
導入線	電力系 コックコート <sup>ス</sup>	m		956		< 1 m当り > 電力系導入線 コックコート <sup>ス</sup>	m	1	
分岐柵	CCBX-BM 400×500×1000 著しい時間的制約	基		32		< 10 基当り > 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュ <sup>ン</sup> 40~0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックス <sup>ス</sup> ブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフレ <sup>ン</sup> ソクレ <sup>ン</sup> 質料補正係数=標準; 分岐柵 400×500×1000 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 400×1000 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	m <sup>2</sup> m <sup>3</sup> 個 基 組 組 枚	8.7 0.14 10 10 10 10 20	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
簡易トラフ	CCBX-KT 400×500×2000 著しい時間的制約	基		2		< 10 基当り > 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフレレンスレン賃料補正係数=標準; 簡易トラフ 400×500×2000 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 400×2000 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	m <sup>2</sup>	15.5
							m <sup>3</sup>	0.25
管路工(管路部) 【県警施設】		式		1				
埋設管路	FEP管 φ30 著しい時間的制約	m		80		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路	FEP管 φ50 著しい時間的制約	m		11		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路	FEP管 φ65 著しい時間的制約	m		310		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1
埋設管路	角型FEP φ75 著しい時間的制約	m		138		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ロングヘルマウス	FEP管 φ30	個		3		< 1 個当たり > 波付硬質電線管用付属品(FEP用) ヘルマウス 30mm	個	1	
ロングヘルマウス	FEP管 φ65	個		22		< 1 個当たり > 波付硬質電線管用付属品(FEP用) ヘルマウス 65mm	個	1	
止水栓	FEP管 φ30	個		3		< 1 個当たり > 止水栓 FEP管 φ30	個	1	
止水栓	FEP管 φ65	個		22		< 1 個当たり > 止水栓 FEP管 φ65	個	1	
導入線	通信系 PP <sub>r</sub> -フ	m		539		< 1 m当たり > 通信系導入線 PP <sub>r</sub> -フ	m	1	
ハンドホール	B600×H600×L600 県警仕様 著しい 時間的制約	箇所		24		< 1 箇所当たり > プレキャストマンホール 作業区分=据付; 製品質量=2000kg/基以下; 基礎砕石=有り(円形断面); 費用の内訳=全ての費用; ハンドホール 600×600×600(蓋含む) 県警仕様	基	1	
管路工(管路部) 【連系管】		式		1					
埋設管路	PV管 φ75 著しい 時間的制約	m		229		< 1 m当たり > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路	VP管 φ100 著しい 時間的制約	m		15		< 1 m当たり > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
ダクトスリーブ	VP管 φ100用	個		1		ダクトスリーブ VP管 φ100用	個	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ダクトスリーブ	PV管 φ75	個		20		< 1 個当り > ダクトスリーブ PV管 φ75用	個	1	
止水栓	PV管 φ75	個		20		< 1 個当り > 止水栓 PV管 φ75	個	1	
止水栓	VP管 φ100	個		1		止水栓 VP管 φ100	個	1	
導入線	通信系 PP管	m		15		< 1 m当り > 通信系導入線 PP管	m	1	
埋設管路 (連系設備)	PV管 φ75 著しい 時間的制約	m		300		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
管路工(管路部) 【引込管】		式		1					
埋設管路	角型FEP φ75 著 しい時間的制約	m		47		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1	
埋設管路	PV管 φ75 著しい 時間的制約	m		39		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
ダクトスリーブ	PV管 φ75	個		2		< 1 個当り > ダクトスリーブ PV管 φ75用	個	1	
ロンクベルマウス	角型FEP φ75 L120	個		14		< 1 個当り > ロンクベルマウス 角型FEP φ75 L120	個	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
ロンク <sup>®</sup> ベルマウス	角型FEP φ75 L200	個		3		< 1 個当り > ロンク <sup>®</sup> ベルマウス 角型FEP φ75 L200	個	1	
止水栓	PV管 φ75	個		2		< 1 個当り > 止水栓 PV管 φ75	個	1	
止水栓	角型FEP φ75	個		17		< 1 個当り > 止水栓 角型FEP φ75	個	1	
導入線	通信系 PP <sup>®</sup> -7 <sup>°</sup>	m		88		< 1 m当り > 通信系導入線 PP <sup>®</sup> -7 <sup>°</sup>	m	1	
引込管	PV管 φ75 著しい 時間的制約	m		10		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
共用FA分岐管	150×75	個		6		< 1 個当り > 共用FA分岐管 150×75	個	1	
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス	分岐接続部 I型(丸蓋)歩道 著しい時間的制約	個		1		基礎碎石	m <sup>2</sup>	4.77
						碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準; 分岐接続部 I型 1200×1500×2200 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 φ750 (歩道用) 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	m <sup>3</sup>	0.12
プレキャストボックス	分岐接続部 I型(角蓋)歩道 レジコンクリート・土留型特殊部用 BR11, 12, 13, 15 著しい時間的制約	個		2		< 1 個当り >	m <sup>2</sup>	4.07
						基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準; 分岐接続部 I型(標準・角蓋) 土留型特殊部用 1200×1500×2200 レジコン 調整リング含む BR11, 12, 13, 15 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	m <sup>3</sup>	0.1
						個	3	
						基 組	1	1
						組	1	1
						枚	1	1

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	分岐接続部 I型(角蓋)歩道 著しい時間的制約	個		2		< 1 個当り > 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準; 分岐接続部 I型 車道分岐1200×1500×2200 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	m <sup>2</sup>	4.77	
			m <sup>3</sup>	0.12					
						個	4		
						基組	1		
						組	1		
						枚	1		

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	特殊部II型 通信 基点用(丸蓋)歩道 著しい時間的制 約	個		6		< 1 個当り > 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準; 特殊部II型 通信基点用 950×1500×22 00 コンクリート基礎版 B400×L2600×t100 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30 .4mm	m2 m2 個 基 個 組 組 枚	1.22 4 4 1 2 1 1 1	



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス	通信接続柵(角蓋) 歩道 著しい時間 的制約	個		6		< 1 個当り > 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	2.09
						モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準;	m <sup>3</sup>	0.07
プレキャストボックス	電力地上機器部 II型(角蓋)歩道 著しい時間的制約	個		4		通信接続柵 550×1050×2000 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 550×2000 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30 .4mm	基 組	1 1
						シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30 .4mm	枚	1
プレキャストボックス	電力地上機器部 II型(角蓋)歩道 著しい時間的制約	個		4		< 1 個当り > 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	4.3
						モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準;	m <sup>3</sup>	0.1
プレキャストボックス	電力地上機器部 II型(角蓋)歩道 著しい時間的制約	個		4		電力地上機器部 II型 タイプ1 1060×15 00×2200 (東北) 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 500×800 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30 .4mm	基 組	1 1
						シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30 .4mm	枚	1

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	電力地上機器部 II型タイプ1(角蓋) 歩道 レジンコンクリート・ 土留型特殊部用 Br-8 著しい時間的 制約	個		1		基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準; 電力地上機器部 II型(タイプ1) 土留型特殊部用 1060 ×1500×2200(東北) レジン 調整リング 含む Br-8 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 500×800 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30 .4mm	m2 m3 個 基 組 組 枚	3.88 0.09 4 1 1 1 1	
プレキャストボックス	電力地上機器部 II型タイプ1(角蓋) 歩道 レジンコンクリート・ 土留型特殊部用 Br-9 著しい時間的 制約	個		1		基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準; 電力地上機器部 II型(タイプ1) 土留型特殊部用 1060 ×1500×2200(東北) レジン 調整リング 含む Br-9 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 電線共同溝用鉄蓋 500×800 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30 .4mm	m2 m3 個 基 組 組 枚	3.88 0.09 4 1 1 1 1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス	電力地上機器部 II型タイプ1(角蓋)歩道 レジンコンクリート・土留型特殊部用 Br-10 著しい時間的制約	個		1		基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	3.88
						モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	0.09
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当たり質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準;	個	4
						電力地上機器部 II型(タイプ1)土留型特殊部用 1060×1500×2200(東北)レジン調整リング含む Br-10蓋設置 蓋1組当たり質量=200kg以下;	基 組	1 1
						電線共同溝用鉄蓋 500×800 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	組 枚	1 1
プレキャストボックス	電力地上機器部 I型タイプ3(角蓋)歩道 著しい時間的制約	個		1		基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	2.67
						基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	7.46
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当たり質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準;	個	4
						電力地上機器部 I型タイプ3 1060×1500×4200(東北) コンクリート基礎版 B400×L4600×t100	基 個	1 2
						蓋設置 蓋1組当たり質量=200kg以下;	基 組	1 1
						電線共同溝用鉄蓋 500×800 化粧充填用 シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	組 枚	1 1

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	電力地上機器部 II型タイプ4(角蓋) 歩道 レジン・土留型 特殊部用・側溝下 著しい時間的制約	個		1		基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	2.29	
						基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	8.04	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス <sup>°</sup> ロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレックレーン賃料補正係数=標準;	個	5	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス <sup>°</sup> ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレックレーン賃料補正係数=標準;	個	1	
						電力地上機器部 II型 (タイプ4) 土留型特殊部・側溝下 1000×1500×5220(東北) レジンコンクリート 調整リング含む	基	1	
						コンクリート基礎版 B400×L5460×t100	個	2	
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下;	組	1	
						電線共同溝用鉄蓋 500×800 化粧充填用	組	1	
						シリンダー錠 φ20mm L=28.0mm~30.4mm	枚	1	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				(当初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	土留型特殊部B8(角蓋)歩道 著しい時間的制約	m		19		基礎砕石 砕石の厚さ=22.5cmを超え27.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	54.2	
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%; 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	10.8	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	13	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 頂版開口750×850	個	4	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 側壁開口750×500	個	2	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505	個	5	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1440	個	1	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1005	個	1	
						土留型特殊部小口版 B1700×H3600×t200	個	2	
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;	組	2	
						電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用	組	2	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				(当初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	土留型特殊部B9(角蓋)歩道 著しい時間的制約	m		34		基礎砕石 砕石の厚さ=22.5cmを超え27.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	96.9	
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%; 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	19.4	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	23	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 頂版開口750×850	個	4	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 側壁開口750×500	個	2	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 側壁417.5×500×2	個	2	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505	個	13	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1390	個	1	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1005	個	1	
						土留型特殊部小口版 B1700×H3600×t200	個	2	
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;	組	2	
						電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用	組	2	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業				(当初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	土留型特殊部B10(角蓋)歩道 著しい時間的制約	m		37		基礎砕石 砕石の厚さ=22.5cmを超え27.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	105.5	
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%; 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	21.1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	27	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 頂版開口750×850	個	4	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 側壁開口750×500	個	2	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505	個	12	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1390	個	1	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1226	個	1	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1150	個	1	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1062	個	2	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1005	個	4	
						土留型特殊部小口版 B1700×H3600×t200	個	2	
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;	組	2	
						電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用	組	2	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	土留型特殊部B11(角蓋)歩道 著しい時間的制約	m		17		基礎碎石 砕石の厚さ=22.5cmを超え27.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	48.5	
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%; 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	9.7	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	12	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 頂版開口750×850	個	4	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 側壁417.5×500×2	個	2	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505	個	3	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1005	個	2	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1445	個	1	
						土留型特殊部小口版 B1700×H3600×t200	個	2	
					蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;	組	2		
					電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用	組	2		



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	土留型特殊部B12(角蓋)歩道 著しい時間的制約	m		25		基礎砕石 砕石の厚さ=22.5cmを超え27.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	71.3	
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%; 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>3</sup>	14.3	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフトレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフトレンクレーン賃料補正係数=標準;	個	17	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 頂版開口750×850	個	4	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505	個	11	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1420	個	1	
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1005	個	1	
						土留型特殊部小口版 B1700×H3600×t200	個	2	
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;	組	2	
						電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用	組	2	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス	土留型特殊部B13(角蓋)歩道 著しい時間的制約	m		18		基礎砕石	m <sup>2</sup>	51.3
						砕石の厚さ=22.5cmを超え27.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;		
						コンクリート	m <sup>3</sup>	10.3
						構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド工(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40BB W/C≤60%; 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	2
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準;		
						プレキャストボックスブロック設置	個	12
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準;		
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 頂版開口750×850	個	4
						土留型特殊部 B1300×H3000×L1505 側壁開口750×500	個	2
土留型特殊部 B1300×H3000×L1505	個	5						
土留型特殊部 B1300×H3000×L1445	個	1						
土留型特殊部小口版 B1700×H3600×t200	個	2						
蓋設置	組	2						
蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下;								
電線共同溝用鉄蓋 850×1500 化粧充填用	組	2						
プレキャストボックス	開口接続部 B1500×H500×L340/480 Br-8 著しい時間的制約	組		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準;		
						開口接続部 B1500×H500×L340/480	組	1
プレキャストボックス	開口接続部 B1500×H500×L1760 Br-9 著しい時間的制約	組		1		プレキャストボックスブロック設置	個	1
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準;		
						開口接続部 B1500×H500×L1760	組	1

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	開口接続部 B1500×H500×L1620 Br-10 著しい時間的制約	組		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準; 開口接続部 B1500×H500×L1620	個 組	1 1	
プレキャストボックス	開口接続部 B1500×H500×L3290/3300 Br-13 著しい時間的制約	組		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレン賃料補正係数=標準; 開口接続部 B1500×H500×L3290/3300	個 組	1 1	
プレキャストボックス	開口接続部 B835×H500×2×L380 BR14 著しい時間的制約	組		1		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下;ラフレレンクレン賃料補正係数=標準; 開口接続部 B835×H500×2×L380	個 組	1 1	
鉄蓋調整リング	850×1500 H=100	個		2		< 1 個当り > 鉄蓋調整リング 850×1500 H=100mm	個	1	
鉄蓋調整リング	850×1500 H=150	個		1		鉄蓋調整リング 850×1500 H=150mm	個	1	
鉄蓋調整リング	850×1500 H=200	個		5		< 1 個当り > 鉄蓋調整リング 850×1500 H=200mm	個	1	
鉄蓋調整リング	TR2	個		3		< 1 個当り > 鉄蓋調整リング TR2	個	1	
機器塔調整リング	KRT2	個		4		< 1 個当り > 機器塔調整リング KRT2	個	1	
直接工事費		式		1					

## 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
建設機械運搬費		式		1		貨物自動車による運搬(1車1回) 運搬区分=路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2.0 m; 片道運搬距離(実数入力)=1 km; その他の諸料金の有無=無; 運搬中の賃料(損料)の有無=無;	台	2	

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
仮設材運搬費						【往路】 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=1 km；製品長区分=12m以 内；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数 入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t	205.3
						仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=1 km；製品長区分=12mを 超え15m以内；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割 増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t	261.7
						仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=1 km；製品長区分=15m超 え；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数 入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t	286.4
						仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み、取卸し(片道分)；	t	753.4
						【復路】 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=1 km；製品長区分=12m以 内；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数 入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t	205.3
						仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=1 km；製品長区分=12mを 超え15m以内；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割 増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t	261.7
						仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=1 km；製品長区分=15m超 え；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数 入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t	286.4

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
		式		1		え；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み，取卸し(片道分)；	t	753.4	
事業損失防止施設費		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
試掘	夜間					<b>【舗装版撤去】</b> 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用; 舗装版破碎積込 運搬 (電線共同溝) 積載区分=アスファルト塊; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=2.0km以下; 処分費 (t) アスファルト殻(掘削)	m	132
						舗装版破砕積込 運搬 (電線共同溝) 積載区分=アスファルト塊; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=2.0km以下; 処分費 (t) アスファルト殻(掘削)	m <sup>2</sup> m <sup>3</sup> t	63 4.8 9
						<b>【開削土工】</b> 床掘り 運搬 (電線共同溝) 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=0.5km以下; 整地 作業区分=残土受入れ地での処理; 埋戻し・締固め 土質=土砂;	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	92 14 14 78
						<b>【舗装復旧(歩道)】</b> 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシャー RC-40; 費用の内訳=全ての費用; 表層 (歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=⑧再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>	45 45
						<b>【舗装復旧(車道)】</b> 下層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)=300 mm; 施工区分=2層施工;	m <sup>2</sup>	18

# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
						材料=再生クラッシュラン RC-40; 費用の内訳=全ての費用; ; 上層路盤(車道・路肩部) 材料=粒度調整砕石 M-40; 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 費用の内訳=全ての費用; ; 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=②再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用; ; 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=⑥密粒度アスコン(新20FH)改質材入; 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	18	
		式		1					
埋設物件事故防止費	夜間	式		1		普通作業員	人	5	
技術管理費		式		1					
平板載荷試験	50kN以内	式		1		地盤の平板載荷試験 50kN以内 反力装置 損料 バック材0.8m <sup>3</sup> 排対2次 11欄	箇所 供用日	7 7	
道路施設基本データ作成費		式		1		道路施設基本データ作成費 技術員1.75人/式	式	1	
現場環境改善費(率計上)		式		1		市街地補正=市街地			



# 見積参考資料

工事名	国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
共通仮設費 (率計上)		式		1		施工地域補正=大都市(2); 除雪工補正=補正無; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=4週8休以上			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=大都市(2); 緊急工事補正=しない; ; 砂防・地滑り工事補正=しない; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=4週8休以上			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
業務委託料	工事業務に係る調整業務	式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費(法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等)が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

## 見積参考資料（別紙）

工事名：国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業

この「見積参考資料（別紙）」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料（別紙）」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。  
なお、この「見積参考資料（別紙）」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

### 1. 各種補正

#### 1) 間接工事費

施工時期補正	無し
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

### 2. その他

歩掛及び単価適用年月：入札月

単価適用地区：新潟地区

材料単価：土木工事標準積算基準書の通りであり、価格や商品名については回答しない。  
価格については、スケールメリット等を考慮のうえ貴社で想定すること。

労務単価補正：著しい時間的制約あり 一括割増率14%、夜間 一括割増率50%

山岳地割増：無し

週休2日の補正：4週8休以上（ただし、施工単価・道路基本データ作成費は補正の対象としない）

### 3. 軽油

荷姿は、小型ローリー渡し・パトロール給油を想定している。

#### 4. 施工歩掛

- 電線共同溝－仮設工－土留仮締切工(一般部 BR)－軽量鋼矢板(電線共同溝)

##### 軽量鋼矢板賃料

II型 L=1.5・2.0・2.5m

(100枚当り)

名称	規格	単位	数量			摘要
			L=1.5m	L=2.0m	L=2.5m	
軽量鋼矢板賃料	II型 供用日数※1	t	2.22	2.96	3.70	※1 ①-1参照, 単価表①
軽量鋼矢板整備費	II型 補助工法有 使用回数※2	t	2.22	2.96	3.70	※2 ①-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	1	1	

##### 単価表① 軽量鋼矢板賃料

II型 L=1.5・2.0・2.5m

(1t当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽量鋼矢板賃料	II型 賃料期間※3	t・日	供用日数※4	※3, ※4 ①-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	

##### ※①-1 供用日数及び一現場での使用回数

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=1.5m	22日	1回	賃料期間 90日以内
	40日	2回	〃
	55日	3回	〃
	69日	4回	〃
	79日	5回	〃
	86日	6回	〃
	101日	8回	賃料期間 180日以内
	107日	9回	〃
	112日	10回	〃
	117日	11回	〃
	121日	12回	〃
	125日	13回	〃
	127日	14回	〃
	135日	17回	〃

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=1.5m	143日	21回	〃
	145日	22回	〃
	146日	23回	〃
	148日	25回	〃
	149日	26回	〃
L=2.0m	14日	1回	賃料期間 90日以内
	28日	4回	〃
	32日	5回	〃
	35日	6回	〃
	39日	7回	〃
	43日	9回	〃
L=2.5m	44日	10回	〃
	5日	1回	賃料期間 90日以内

- 電線共同溝－仮設工－土留仮締切工(一般部 BR)－切梁・腹起し

##### 腹起し材質料

アルミ腹起し 4m/本

(1本当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
アルミ腹起し賃料	管理設工事用 幅80×高115×長4000	本・日	※5(②-1)	賃料日数及び一現場での使用回数②-1
アルミ腹起し基本料	管理設工事用 幅80×高115×長4000	本	1	
諸雑費(まるめ)		式	1	

##### 切梁サポート材質料

水圧ジヤッキ6t用

(1本当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
水圧ジヤッキ賃料	アルミ製 調整長1,100～1800mm	本・日	※(②-1)	賃料日数及び一現場での使用回数②-1
水圧ジヤッキ基本料	アルミ製 調整長1,100～1800mm	本	1	
諸雑費(まるめ)		式	1	

##### 手動式水圧ポンプ賃料

タンク容量15～19L

(1台当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
水圧手動ポンプ 賃料	タンク容量15～19L	台・日	※(②-2)	

水圧手動ポンプ 基本料	タンク容量15～19L	台	1	
諸雑費(まるめ)		式	1	

②-1 供用日数及び一現場での使用回数

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=1.5m部	22日	1回	
	40日	2回	
	55日	3回	
	69日	4回	
	79日	5回	
	86日	6回	
	101日	8回	
	107日	9回	
	117日	11回	
	125日	13回	
	135日	17回	
	146日	23回	
	149日	26回	

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=2.0m部	14日	1回	
	28日	4回	
	35日	6回	
	39日	7回	
	43日	9回	
	44日	10回	
L=2.5m部	5日	1回	

②-2 供用日数

規格	供用日数	摘要
L=1.5m部	149日	
L=2.0m部	44日	
L=2.5m部	5日	

・電線共同溝一仮設工一土留仮締切工(特殊部 BR)一軽量鋼矢板(電線共同溝)

軽量鋼矢板賃料

II型 L=2.5・3.0・3.5m

(100枚当り)

名称	規格	単位	数量			摘要
			L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	
軽量鋼矢板賃料	II型 供用日数※1	t	3.70	4.44	5.18	単価表①
軽量鋼矢板整備費	II型 補助工法有 使用回数※2	t	3.70	4.44	5.18	※1,※2 ③-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	1	1	

単価表① 軽量鋼矢板賃料

II型 L=2.5・3.0・3.5m

(1t当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽量鋼矢板賃料	II型 賃料期間※3	t・日	供用日数※4	※3,※4 ③-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	

③-1 供用日数及び一現場での使用回数

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=2.5m	18日	3回	賃料期間 90日以内
	26日	5回	〃
	28日	6回	〃
L=3.0m	18日	3回	賃料期間 90日以内
	26日	5回	〃
L=3.5m	3日	1回	賃料期間 90日以内

・電線共同溝—仮設工—土留仮締切工(特殊部 BR)—切梁・腹起し

山留材質料 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有

(1t当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
H形鋼(山留主部材)	200型 賃料期間※1	t	1	※1 ④-1参照
H形鋼(山留主部材)修理費及び損耗費	使用回数※2	t	1	※2 ④-1参照
副部材(A)	賃料 賃料期間※1	t	0.22	※1 ④-1参照
副部材A修理費及び損耗費	使用回数※2	t	0.22	※2 ④-1参照
副部材B修理費及び損耗費	使用回数※2	t	0.04	※2 ④-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	

④-1 供用日数及び一現場での使用回数

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=2.5m	18日	3回	賃料期間 90日以内
	26日	5回	〃
	28日	6回	〃
L=3.0m	18日	3回	賃料期間 90日以内
	26日	5回	〃
L=3.5m	3日	1回	賃料期間 90日以内

・電線共同溝—仮設工—土留仮締切工(一般部 BL)—軽量鋼矢板(電線共同溝)

軽量鋼矢板質料

II型 L=1.5・2.0・2.5m

(100枚当り)

名称	規格	単位	数量		摘要
			L=1.5m	L=2.0m	
軽量鋼矢板賃料	II型 供用日数※1	t	2.22	2.96	※1 ①-1参照, 単価表①
軽量鋼矢板整備費	II型 補助工法有 使用回数※2	t	2.22	2.96	※2 ①-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	1	

単価表① 軽量鋼矢板質料

II型 L=1.5・2.0・2.5m

(1t当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽量鋼矢板賃料	II型 賃料期間※3	t・日	供用日数※4	※3, ※4 ①-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	

※①-1 供用日数及び一現場での使用回数

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=1.5m	19日	1回	賃料期間 90日以内
	35日	2回	〃
	48日	3回	〃
	61日	4回	〃
	73日	5回	〃
	85日	6回	〃
	97日	7回	賃料期間 180日以内
	107日	8回	〃
	116日	9回	〃
	125日	10回	〃
	132日	11回	〃
	138日	12回	〃
	144日	13回	〃
	149日	14回	〃
	158日	16回	〃
	163日	17回	〃
	166日	18回	〃
	169日	19回	〃
	175日	22回	賃料期間 360日以内
	176日	23回	〃
	177日	24回	〃
	181日	27回	〃
	187日	33回	〃
	188日	34回	〃
	188日	35回	〃
	189日	36回	〃
	189日	38回	〃

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=2.0m	2日	1回	賃料期間 90日以内
	5日	3回	〃
	5日	4回	〃

・電線共同溝—仮設工—土留仮締切工(一般部 BL)—切梁・腹起し

**腹起し材質料**

アルミ腹起し 4m/本

(1本当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
アルミ腹起し賃料	管理設工事用 幅80×高115×長4000	本・日	※5(②-1)	賃料日数及び一現場での使用回数②-1
アルミ腹起し基本料	管理設工事用 幅80×高115×長4000	本	1	
諸雑費(まるめ)		式	1	

**切梁サポート材質料**

水圧シヤッキ6t用

(1本当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
水圧シヤッキ賃料	アルミ製 調整長1,100~1800mm	本・日	※(②-1)	賃料日数及び一現場での使用回数②-1
水圧シヤッキ基本料	アルミ製 調整長1,100~1800mm	本	1	
諸雑費(まるめ)		式	1	

**手動式水圧ポンプ質料**

タンク容量15~19L

(1台当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
水圧手動ポンプ賃料	タンク容量15~19L	台・日	※(②-2)	
水圧手動ポンプ基本料	タンク容量15~19L	台	1	
諸雑費(まるめ)		式	1	

**②-1 供用日数及び一現場での使用回数**

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=1.5m部	19日	1回	
	35日	2回	
	61日	4回	
	73日	5回	
	85日	6回	
	97日	7回	
	107日	8回	
	116日	9回	
	125日	10回	
	132日	11回	
	138日	12回	
	144日	13回	
	163日	17回	
	166日	18回	
	169日	19回	
	177日	24回	
188日	35回		
189日	38回		

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=2.0m部	2日	1回	
	5日	3回	
	5日	4回	

**②-2 供用日数**

規格	供用日数	摘要
L=1.5m部	189日	
L=2.0m部	5日	



・電線共同溝—仮設工—土留仮締切工(特殊部 BL)—軽量鋼矢板(電線共同溝)

軽量鋼矢板賃料

II型 L=2.0・2.5・3.0m

(100枚当り)

名称	規格	単位	数量			摘要
			L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	
軽量鋼矢板賃料	II型 供用日数※1	t	2.96	3.70	4.44	※1 ③-1参照, 単価表①
軽量鋼矢板整備費	II型 補助工法有 使用回数※2	t	2.96	3.70	4.44	※2 ③-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	1	1	

単価表① 軽量鋼矢板賃料

II型 L=2.0・2.5・3.0m

(1t当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽量鋼矢板賃料	II型 賃料期間※3	t・日	供用日数※4	※3, ※4 ③-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	

③-1 供用日数及び一現場での使用回数

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=2.0m	35日	6回	賃料期間 90日以内
L=2.5m	12日	3回	賃料期間 90日以内
	15日	5回	〃
L=3.0m	6日	2回	賃料期間 90日以内
	7日	3回	〃

・電線共同溝—仮設工—土留仮締切工(特殊部 BL)—切梁・腹起し

山留材質料 火打B・継続工事無 主部材・副部材A,B修理費・損耗費有

(1t当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
H形鋼(山留主部材)	200型 賃料期間※1	t	1	※1 ④-1参照
H形鋼(山留主部材) 修理費及び損耗費	使用回数※2	t	1	※2 ④-1参照
副部材(A)	賃料 賃料期間※1	t	0.22	※1 ④-1参照
副部材A 修理費及び損耗費	使用回数※2	t	0.22	※2 ④-1参照
副部材B 修理費及び損耗費	使用回数※2	t	0.04	※2 ④-1参照
諸雑費(まるめ)		式	1	

④-1 供用日数及び一現場での使用回数

規格	供用日数	使用回数	摘要
L=2.0m	35日	6回	賃料期間 90日以内
L=2.5m	12日	3回	賃料期間 90日以内
	15日	5回	〃
L=3.0m	6日	7回	賃料期間 90日以内
	1日	1回	〃

## 5. 業務委託料の算定

業務委託料には、次項の計上項目・数量・歩掛等を算定した業務価格を計上している。

### 見積参考資料(業務委託料)

業種：設計業務

項目・工種・種別・細別	単位	数量	参考事項		
			名称	単位	数量
工事業務に係る調整業務	式	1			
工事業務に係る調整業務	式	1			
工事業務に係る調整業務	式	1			
業務計画書	式	1	〈1業務当たり〉 業務計画書	業務	1
工事管理	年	6	〈1年当たり〉 工事管理	年	1
直接原価（その他原価除く）	式	1			
その他原価	式	1	$\alpha = 35\%$ 、 $\beta = 35\%$		
一般管理費等	式	1	$\alpha = 35\%$ 、 $\beta = 35\%$		
業務価格	式	1			

#### 1) 業務委託料（工事業務に係る調整業務）

##### ①業務計画書

1業務当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画書	5.00	5.00	10.00	10.00	10.00		

##### ②工事管理

1年当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務管理	5.63	11.47	9.07	11.47			北陸地方整備局との協議・連携

6. 局特別調査（臨時調査）材料

品名	規格・寸法	単位	備考
標準型歩道用ガードパイプ	P1-1.1-3.0 ベースプレート式 標準4色	m	アンカーボルト含まず
共用FA管	VP管(直管) φ150×5000 継手付	m	
ホテイ管	VP管(直管) φ150×5000 継手付	m	
ホテイ管	VP管(曲管 5R,10R) φ150×1000 継手付	m	
共用FA管	EB管(曲管 5R) φ150	m	
共用FA管	EB管(曲管 10R) φ150	m	
共用FA分岐管	150×75	個	
共用FA管 やりとり継手	VP φ150 L=0.25m/本	本	
ホテイ管	ロータス管(起点側) φ150	本	
ホテイ管	ロータス管(終点側) φ150	本	
ホテイ管	スライト管 φ150	本	
ロングヘルマウス	角型FEP φ75 L=120	個	
ロングヘルマウス	角型FEP φ100 L120	個	
ロングヘルマウス	角型FEP φ50 L=200	個	
ロングヘルマウス	角型FEP φ75 L=200	個	
ロングヘルマウス	角型FEP φ100 L=200	個	
ロングヘルマウス	角型FEP φ130 L=200	個	
電力系導入線	コックコード	m	
止水栓	PV管 φ50	個	
止水栓	PV管 φ75	個	
止水栓	VP管 φ100	個	
止水栓	VP管 φ150	個	
止水栓	SU管 φ30	個	
止水栓	SU管 φ50	個	
止水栓	角型FEP φ50	個	
止水栓	角型FEP φ75	個	
止水栓	角型FEP φ100	個	
止水栓	角型FEP φ130	個	
止水栓	FEP管 φ30	個	
止水栓	FEP管 φ65	個	
ケーブル防護管	FEP管 φ100 L=50cm	本	
枕材	VP管(共用FA管) φ150用 250mmピッチ	個	
MCCP管(曲管 5R,10R)	φ100 継手付	m	
電力管変換用アダプター	塩ビ管-鋼管用 φ100	個	
電力管変換用アダプター	角型FEP-塩ビ管用 φ100	個	
通信系導入線	PPロープ	m	
ハンドホール	600×600×600(蓋含む) 県警仕様	基	
分岐接続部 I 型	標準・角蓋 1200×1500×2200 レジンコンクリート・土留型特殊部 用 調整リング含む BR11,12,13,15	基	蓋は含まず
電力地上機器部 II 型	タイプ1 1060×1500×2200(東北) レジンコンクリート・土留型特殊部 用 調整リング含む BR8	基	〃
電力地上機器部 II 型	タイプ1 1060×1500×2200(東北) レジンコンクリート・土留型特殊部 用 調整リング含む BR9	基	〃
電力地上機器部 II 型	タイプ1 1060×1500×2200(東北) レジンコンクリート・土留型特殊部 用 調整リング含む BR10	基	〃

電力地上機器部 II型	タイプ4 1000×1500×5220(東北) レジコンクリート・土留型特殊部 用・側溝下 調整リング含む	基	〃
コンクリート基礎版	B400×L2600×t100	個	現場車上渡し
コンクリート基礎版	B400×L4600×t100	個	〃
コンクリート基礎版	B400×L5460×t100	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1505 頂版開口750×850 7600kg/個	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1505 側壁開口750×500 7730kg/個	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1505	個	〃
土留型特殊部小口版	B1700×H3600×t200	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1005	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1062	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1150	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1226	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1390	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1420	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1440	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1445	個	〃
土留型特殊部	B1300×H3000×L1505 側壁417.5×500×2	個	〃
開口接続部	B1500×H500×L340	組	〃
開口接続部	B1500×H500×L340/480	組	〃
開口接続部	B1500×H500×L1760	組	〃
開口接続部	B1500×H500×L1620	組	〃
開口接続部	B1500×H500×L3290/3300	組	〃
開口接続部	B835×H500×2×L380	組	〃
鉄蓋調整リング	850×1500 H=200mm	個	
鋼製山留材整備費	H-200	t	
鋼製山留材賃料	H-200 90日以内	t・日	
鋼製山留材部品整備費	H-200	t	
鋼製山留材部品不足弁償金	H-200 新品	t	
副部材(A)賃料	H-200 部品 賃料 90日以内	t・日	

・本工事は、土木工事標準積算基準書に定める局特別調査（臨時調査）結果に基づく材料単価の提示を行う試行工事である。

・この「見積参考資料（別紙）」は、入札参加者の適切な見積りに資するための資料であり「発注者側が積算に使用している本工事の対象工種限定の参考値」である。

・競争参加資格確認通知書において、競争参加資格が有と通知されたものに対して、材料単価を提示した見積参考資料（別紙）を電子データにて交付する。

## 見 積 参 考 資 料

事業名 : 国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFI事業（工事監理業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 北陸地方整備局  
新潟国道国道事務所 管理第二課

### 1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

#### 1) 工事監理業務

##### ①工事監理業務

1式当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
業務計画		1.00	2.00	4.00			
監理業務			28.66		1098.58		
打合せ			172.80				

－ 以 上 －

## 見 積 参 考 資 料

事業名：国道116号美咲町・新光町電線共同溝PFⅠ事業（維持管理業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 北陸地方整備局  
新潟国道国道事務所 管理第二課

### 1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

#### 1) 点検・補修業務

##### ①日常点検

維持管理業務開始後、年度毎に1回（定期点検を行う年度は日常点検は実施しない）、合計13回を想定している。

1回当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備		0.50	0.88	1.00	0.63		
通常点検			0.25	1.00	0.63	1.00	
点検調書作成				0.50	0.57	1.00	
報告書作成		0.25	0.25	0.50	0.82	0.50	

##### ②定期点検

維持管理業務開始後5年目の年度を初回とし、5年に1回、合計3回を想定している。

1回当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備		1.94	2.92	2.58	2.92	1.29	
定期点検		0.52	1.55	6.98	17.52	4.65	
点検調書作成			0.26	0.78	2.57	1.55	
報告書作成		1.07	1.07	2.13	3.50	2.13	

#### 2) 台帳作成・管理業務

##### ①管理台帳作成

1km当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
管理台帳作成			4.94	35.08	28.15	36.25	

3) 共通

①維持管理業務に係る調整業務

1年当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
計画準備	0.20	0.50	1.50	1.50	1.00		
調整監理	2.00	3.50	7.92	6.00	26.89		
打合せ			7.92				

2. 直接経費

1) 旅費交通費

①旅費（率計上・宿泊無）

本業務は旅費交通費を率化することにより業務改善を行う試行業務である。本業務において打合せ、関係機関協議、現地作業（現地踏査含む）にかかる旅費交通費は直接人件費の1.49%として計上している。なお、契約変更によって直接人件費の増減があった場合の旅費交通費においては変更後の直接人件費に対し率を乗じた額により計上する。ただし、旅費交通費の上限は59.7万円とし、変更によって宿泊が生じた場合は本試行の対象外とする。

2) 電子成果品作成費

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第3編第1章第3節3-1 電子成果品作成費 を適用  
 計算式は、その他の設計業務を適用する。

－ 以 上 －